

令和3年（2021）12月3日～12月8日

令和3年度（2021）

第5回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和3年度（2021）第5回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

12月3日（金） 10:00 開会			12月6日（月） 10:00 開会			12月7日（火） 10:00 開会			12月8日（水） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	保科孝充	3 ～ 4	1	湯浅啓史	12	1	福島孝雄	21	1	西村亮	28
2	錦織稔	5	2	伊藤繁満	13 ～ 14	2	本田一勇	22	2	後藤由美	29 ～ 30
3	今岡真治	6	3	鐘推義憲	15 ～ 16	3	岸道三	23	3	板倉一郎	31
4	今岡久人	7	4	高橋扶治夫	17	4	木佐宏	24			
5	大場利信	8	5	児玉俊雄	18	5	吉井安見	25			
6	南浩二	9	6	大谷良治	19	6	長廻利行	26			
7	石橋広信	10 ～ 11	7	玉木満	20	7	福田実	27			

質問者	24 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 次期出雲市総合振興計画における人口均等化策を伺う	
<p>① 9月議会で、今後8年間のまちづくりの指針「出雲市総合振興計画」の策定計画が示されました。 「新たな基本構想の構成」について伺います。 主な構成要素は8項目ありますが、その中で次の項目について現状と課題を伺うとともに、見直しを期待し将来に向けての提案をします。</p> <p>ア 「土地利用の基本指針（エリア別将来像）」について</p> <p>a 今回の「総合振興計画」の中で、「農振法」に基づく農業振興地域のいわゆる線引きの変更を盛り込めないか。 農振法に基づく農用地区域の見直し・変更（農振除外）を、適正規模の範囲で進められたい。 斐川地域においては、人口及び、幼・保・小・中学校の園児・児童生徒数のバランスが大きく変化しているため、線引きの適正な見直しにより、平準化・均衡化に近づくと考えるがいかがか伺う。</p> <p>② 「策定プロセス」について伺います。 地域を熟知された方と将来を担う若い方との意見の集約が、将来へ向けての大きな指針となると考えます。</p> <p>ア 「総合計画審議会」「市民意見の反映」について</p> <p>a 総合計画審議会については、委員はただ単に各団体の長としての答申・意見具申の場ではなく、具体的な提案・協議の場として、活発な議論を展開する審議会とされたいがいかがか伺う。</p> <p>b 前回の策定には、ワーキンググループに係長・課長補佐級の方々が参加されているが、この役割が最も重要な任務と考える。 出雲市の堅実で夢のある将来に向けて、この組織をさらに充実し、行動力のある職員を配置すべきと思うがいかがか。</p>	
(2) 出雲いりすの丘公園のサウンディング調査結果を伺う	
<p>① 平成12年にオープンし、平成20年4月から休園状態の「出雲いりすの丘公園」の市場性・可能性を検討するサウンディング調査が行われました。調査終了後に公表とされていますが、その結果と今後の方針について伺います。</p> <p>ア 応募・提案されたのは市内・市外別に何社であったか イ 具体的な提案はどのような内容であったのか ウ 今後の方針 エ 公園は広大な用地でもあるが、一方でお椀のような傾斜地も含まれており、テーマパーク的な公園として復活させることは今の時代にふさわしくないと考える。 莫大な投資をしない、例えば自然と親しむ研修・生涯学習・体験・ふれあいの場・オートキャンプ場、グランドゴルフ場・野外コンサート場等の施設とされたいが、いかがか伺う。</p>	

(3) 「生理の貧困」教育委員会の姿勢について伺う

① 9月議会における一般質問「生理の貧困」対策に対する教育委員会の答弁は、学校における生理用品は、保健室に準備しているもので、必要があれば取りに来て頂きたいという主旨だったと思います。

保健室で養護教諭とのやり取り等を通じ、児童のサインを察知、支援につなげる貴重な機会とのことでした。

それは、実に的確な指導でもあると思いますが、一方で、次のような考えもあります。

・「生理現象の一つであり、生理用品はトイレットペーパーと同じ感覚で考えるべきだ。」

・「女性の体を守るための知識を、男性を含めてもっと理解すべきだ。」

・「保健室にとりに来ていただきたいというのは、子どもの心を、あるいは保護者の心を理解しないお役所的な発想ではないか。」

教育委員会の考え方は、一朝一夕でそう変わるものではないと思いますが、出雲市の予算を大きく左右するような額とも思いません。

子どもたちの心情、あるいは保護者の心情を理解して頂き、小中学校の個室トイレに返却不要の生理用品を備えて頂きたいと思います。

質問者 13

錦 織 稔

質問事項・質問内容

(1) 市民後見人の養成について

① 成年後見制度は、認知症、知的障がい、精神障がいなど、様々な理由で判断能力の不十分な方、自分で不動産や預貯金などの財産を管理したり、遺産分割の協議をしたりすることが困難な方に対して保護したり支援したりする制度です。最近では特殊詐欺などもあり、財産を奪われることもあります。今後、高齢者の人数は徐々に増加し、成年後見制度を必要とされる方も増えていくことと考えます。専門職の後見人も本業に影響が及ばない程度しか支援できない中で、市民後見人の活躍が期待されます。本市の市民後見人の養成について伺います。

ア 市民後見人養成研修の実施状況、市民後見人バンク登録人数

イ 登録者への研修内容と体制

ウ 今後の養成計画

エ 成年後見制度の周知

(2) 不登校児童生徒に対しての新型コロナワクチン接種

① 年内には12歳以上の方の約85%が2回目のワクチン接種を終えられる見込みです。後の15%の方の中には、これから受ける予定の方、健康上の理由で受けることのできない方、受けたくない方、受けたいが受けることができない方など様々だと思います。その中に、個別・集団接種会場へなかなか足が運べない児童生徒がいます。保護者は受けさせたい、本人も受けたい、しかし足が向かないので保護者は困惑しておられます。このような方への対応はどのようになされているのか伺います。

質問者	9 今 岡 真 治
質問事項・質問内容	
(1) 神西湖の水環境保全に向けた取り組みについて	
<p>① 出雲市では、平成25年3月に策定された「第2次出雲市環境基本計画」に基づき、市民が健康で快適に暮らしていける環境の維持向上のための施策を推進されています。平成30年度には中間見直しが行われ、計画期間である平成25年度から令和4年度までの10年間で目標達成に向けた施策が実施されています。</p> <p>神西湖については、平成17年3月に島根県出雲保健所と出雲市が共同して策定した「神西湖水環境保全指針」との方向性・整合性を図りながら、水質改善に取り組んでおられます。</p> <p>しかしながら、「湖沼水質の環境基準値達成率（宍道湖、神西湖）（COD）」については目標値を達成できていません。そこで、神西湖の水環境保全に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>ア 神西湖の水環境保全に向けた本市の取り組み イ 進捗状況 ウ 湖内・湖岸の環境改善のための取り組みが必要であるとを感じるが所見について エ 今後の方針について</p>	
(2) 医療的ケア児への支援について	
<p>① 本年6月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（医療的ケア児支援法）が成立し、9月18日に施行されました。この法律により、国や地方公共団体は医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を実施する責務を負うこととなります。</p> <p>そこで、医療的ケア児支援法の理念に沿った支援体制の構築が必要であり、現状について伺います。</p> <p>ア 本市の医療的ケア児の実態 イ 今後の取り組みについて</p>	

質問者	8 今 岡 久 人
質問事項・質問内容	
(1) 朱鷺によるまちづくりをめざして	
<p>① 環境省が発表している「トキ野生復帰ロードマップ2025」により、出雲市は「朱鷺によるまちづくり構想」を改定すると6月議会で示されました。構想はどのように改定されたのでしょうか。</p> <p>② 環境省は、来年の4月以降には放鳥を希望する地域からの「公募」を始める予定ですが、そのための準備はどの程度進んでいますか。</p> <p>③ 島根県はマスコミの取材に対して、受け入れ候補地は出雲市と答えています。また、「自然環境の保全や再生」に意義があると答えています。現在、出雲市は島根県とどのような連携をなされ、具体的にどのような事が話し合われているのでしょうか。</p> <p>④ 受け入れにはかなりの選定条件をクリアしなくてはなりません。選定条件をクリアする構想はまとまっていますか。</p> <p>⑤ 市役所内の体制整備はどの様にお考えですか。</p>	

質問者	22 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) カーボンニュートラルを実現するためのJ-クレジットの創出を	
<p>① 政府は2050年にカーボンニュートラルの実現を表明し、脱炭素は国家的な課題となり、官民挙げて二酸化炭素の排出削減や吸収に取り組まれています。また、市内に民間企業におかれても排出削減の技術開発や吸収の拡大に向けてカーボンオフセットなど様々な動きが見られます。市長も「ゼロカーボン推進室」を新設され、カーボンニュートラルの実現に取り組まれようとしています。ここでは、二酸化炭素の吸収力の高い森林を保全・育成するためのJ-クレジットの創出について伺います。</p> <p>ア 最近のデータによる出雲市における二酸化炭素排出量を伺います。</p> <p>イ 市有林における二酸化炭素吸収量のクレジット化について これについては、近いところでは、飯南町や鳥取県日南町、市内の木材会社の取り組みがマスコミで紹介されています。出雲市有林でJ-クレジットを創出するプロジェクトについて、以下伺います。</p> <p> a 出雲市の市有林全体の面積を伺います。</p> <p> b 市有林でJ-クレジットを創出するプロジェクトを実現するためには実態把握をはじめ森林施業や保護、間伐等の課題を解決しなければならないと聞きます。森林を生き活きたものにする意味からも必要と考えますが、これについて伺います。</p> <p> c J-クレジット認証までの作業工程とおおむねの期間を伺います。</p> <p> d コンサルへの委託費等のおおむねの経費についても伺います。</p> <p>ウ 加えて、森林環境譲与税について、この税の目的と出雲市への交付額を伺います。</p> <p>エ 森林は二酸化炭素吸収面から注目されており、二酸化炭素の削減・吸収に理解のある人からJ-クレジットを購入していただき、その資金で森林環境整備に充てる制度を出雲市においても構築すべきと考えますが、その意気込みについて伺います。</p>	
(2) 市内の学校の校内環境の整備について	
<p>① 学校の校内環境の整備については、耐震化をはじめエアコンの設置等に日々ご尽力いただき感謝しております。ここでは、以下3点について今後の計画なりを伺います。</p> <p>ア エアコンの設置 令和元年度までに普通教室を、令和2年度までに理科教室は完了した旨の報告を受けています。残る美術室・図工室と家庭科室への設置要望がありますが、これについての考えを伺います。</p> <p>イ トイレの洋式化 これについては令和2年度に調査し、今年度に工事を進めておられると聞きます。コロナ対策として昨年の12月議会の補正予算で認められたものですが、今後の計画を伺います。</p> <p>ウ 明るさの確保のためのLED照明の設置 これについて学校現場からの要望がありますが、これの取り組みの意向を伺います。</p>	

質問者	2	南 浩 二
-----	---	-------

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 学校給食における地元産食材の活用促進について

- ① 令和2年度の出雲学校給食センターの米を除く出雲市内産食材の使用割合は、数量ベースで25.9%であり、県内産にまで広げても33.4%となっております。学校給食における地産地消を推進するためには、学校給食センターだけではなく、生産者支援を行う農林水産部局が積極的に関与しながら推進していくことが重要であると考えますが、市の方針と地産地消を推進するにあたって課題があれば伺います。
- ② 学校給食の地産地消の推進を図るために構築された学校給食地産地消推進ネットワーク会議は、構成機関が多すぎて具体的な議論に進みにくいという声を聞いておりますが、この地産地消推進ネットワーク会議のこれまでの開催状況と具体的な成果および課題があれば伺います。
- ③ 現在出雲市の3つの給食センターでは卵と乳製品のみのアレルギー対応をしていますが、かつては斐川学校給食センターや佐田、多伎、湖陵学校給食センターでは青魚など他の食材の対応もあったと聞いています。事情により限られた対応というのは承知しておりますが、頻繁に代替弁当をもたせる保護者さんからは、少しでも行政が市民に寄り添って理解をして欲しいという声があります。これまで市として子どもの食べ物アレルギーに関する調査をしたことがあるか伺います。調査をしたことがあるのであれば、その調査結果を受け、市として学校給食におけるアレルギー対応への課題があれば伺います。

(2) 新規就農者の確保・育成について

- ① 出雲市では新規就農者を確保・育成するために、様々な支援策を講じておられますが、認定新規就農者や認定新規就農経験者にお話を伺ってみると、就農しやすい環境にはまだまだ程遠い印象を受けています。令和2年3月に発行された「まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」には、認定新規就農者数の令和6年度末の目標値が対前年度比で5人増となっておりますが、直近5年間の実績と目標達成にむけての現状の課題や問題点を伺います。
- ② 上記課題を踏まえて、目標達成のために来年度に向けて新たな施策の構築や既存の施策の見直しを考えておられるのであれば伺います。

質問者	5 石橋 広 信
質問事項・質問内容	
(1) 療育に関する質問	
<p>① 療育とは障がいのある子どもやその可能性のある子どもに対して、個々の発達の状態や障がい特性に応じて、今の困りごとの解決と、将来の自立と社会参加を目指す支援であります。 では、療育に関しまして質問いたします。</p> <p>ア 現在、出雲市内には療育事業はどれ位ありますでしょうか。</p> <p>イ また、そのような療育事業の利用者は、どれくらいいらっしゃるのでしょうか。</p> <p>ウ どのような内容の支援でしょうか。</p> <p>② 子どもに対してだけの支援ではなく、小さい時から療育を受けていた大人の方等にとっても大事な支援と思っておりますが、質問いたします。</p> <p>ア そのような大人を対象にした支援状況はいかがでしょう。</p> <p>イ 薬で体を整えるだけでなく、人との関わりにて「心」を整えていくことの大切さをお聞きいたしました。このことに関して、出雲市のお考えをお聞かせください。</p> <p>ウ そのような方々の自立、社会参加された事例、体験等あればお聞かせください。</p> <p>③ 今後、いつ・誰が・どんな形で今まで述べてきたような症状になるかわかりません。そこで質問いたします。</p> <p>ア 子どもを対象としている療育事業が、大人を対象としたそのような事業にできないでしょうか。</p> <p>イ 障がいでお悩みの方々への出雲市の今後のお考えをお聞かせください。</p>	
(2) 選挙に係る問題に関する質問	
<p>① 今年は春の市議会議員選挙、秋の衆議院議員選挙と選挙の年でしたが、それらを通して選挙に係る質問をいたします。</p> <p>ア 選挙公示日・告示日に設置されます選挙ポスター用ボードの設置枚数は縮小することは可能でしょうか。山間地域ではほとんど人が通らない箇所もあるようです。</p> <p>イ 出雲市における投票率はどのような状況でしたでしょうか。今回と前回の推移を教えてください。</p> <p>ウ その結果に対しての出雲市のお考えはいかがでしょう。</p> <p>② 期日前投票は全国的に年々投票率が上がってきているようですが、当日を含めた投票所に関しまして質問いたします。</p> <p>ア 投票所における問題点等はいかがでしたでしょうか。</p> <p>イ 高齢者対策はいかがでしたでしょうか。</p> <p>ウ 今後も投票所の削減などはありませんでしょうか。</p>	

- ③ 今後の選挙における投票率アップと高齢者の方々への対応と人員配置と投票所の削減等を考えた時に「移動投票所」もしくは「移動投票車」の導入の検討も必要と考えますが出雲市のお考えはいかがでしょうか質問いたします。
- ア 既に浜田市では5年前から導入されているようで、山間地域の削減された投票所地域中心に行われており、皆さまからも喜ばれているようですが、このことに関しましてお伺いいたします。
- イ 「移動投票所」問題に限らず高齢者社会の中でその主体である高齢者の方々への配慮ある対応を今後も、今まで以上にお願いたく思います。そのことに関しまして最後にお考えをお聞かせください。

質問者	18 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 今後の空き家対策の方針と具体策について	
<p>① 市では空き家の発生原因をどのように分析しているか。主な要因と思われるものを示されたい。</p> <p>② 市としての空き家対策は今後どのような方針で進め、具体的にどのような施策を採る考えか。</p> <p>③ 老朽化した空き家が放置される原因の一つとして、住宅を除却し更地にすると住宅用地特例がなくなり、その土地に係る固定資産税と都市計画税（以下「固定資産税等」）が高くなることが挙げられる。他市では、地域の生活環境の改善を図ることを目的に、老朽化した空き家等を除却した土地について、住宅用地特例が適用された場合と同様に固定資産税等を減免し、老朽化した空き家等の除却の促進を図っている事例があるようだが、出雲市で検討する予定はないか。</p> <p>④ 送付される固定資産税の課税明細書に登記名義人を明記してはどうか。</p>	

質問者	23 伊藤 繁 満
質問事項・質問内容	
(1) 冬季除雪体制に関する課題について伺います。	
<p>① 近年は自然災害が全国的に発生し気候変動の異常な状況を身にしみて感じる機会が多くなりました。新型コロナウイルス感染症の影響により住民生活に様々な支障が生じています。このような状況の下で、本年7月、8月の度重なる豪雨と台風により市内各地において大きな災害が発生し、住民生活はもとより経済活動全般において大きな影響が発生しています。</p> <p>異常気象ともいえる気候状況の下でこれからの冬季における除雪体制を検討された中で下記の項目について伺います。</p> <p>ア 市道、約3,000キロの除雪体制は極めて困難であります積雪深15cmに達したとき、達する見込みがあるときに初動体制に入ることになっているが、判断の見込みを早い段階に行うことが必要ではないかと考えられます。機敏な初動体制について伺います。</p> <p>イ 学校周辺を中心に特に通学路の安全・安心が求められています。幅員3～4m或いは歩道のある道路を通学路としている所が多く見受けられます。市の方針では従来幹線市道を優先して除雪されてきましたが、少子化対策を考えるうえで通学路の除雪を可能な限り重要視すべきことではないかと考えますが伺います。</p> <p>ウ 農業の多面的機能支払交付金事業においては除雪作業も集落の維持・共同活動として対応できることになってはいますが、関係方面に対しての協力要請について伺います。</p> <p>エ 幹線市道を含め交通量の多い路線や通勤・通学路とされている路線に竹林、雑木等が道路に垂れ下がり、通行に支障をきたし渋滞や事故に巻き込まれることも過去にあっているが、特に通称南部大型農道等はダンプ街道であり危険であります。今の道路構造令に基づいた基準ではなく急カーブ・アップダウンとなっているので路肩まで土砂・雑草・雑木等を根元から除去・伐採等を行い安全な道路として供する必要があると伺います。</p>	
(2) 行財政改革第2期実施方針に関わる基本的考え方について伺います。	
<p>① 市長は施政方針において、合併後初の民間出身として企業経営で培った経営感覚を生かし、行財政改革に取り組み「力強い地域経済の実現」と「健全な財政運営を土台とした施策の展開」を基本方針として市政運営に臨むとされています。</p> <p>市内では新型コロナウイルス感染症の影響により観光業、飲食業等は深刻な状況になってはいますが、一方において誘致企業等を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも堅調な業績により人口は17万台をキープし、税収も堅実な推移となっています。その結果、実質公債費比率は改善しつつありますが、将来負担比率において心配な側面が見受けられます。</p> <p>社会の方向は既にデジタル社会に向けて進んでおり、今後5Gの世代に向かっていきます。</p> <p>以下の点について伺います。</p> <p>ア デジタル社会、脱炭素社会向け事務事業の見直しが一層必要であります。スクラップアンドビルドを行い行政事務量の肥大化を抑制すべきと考えますが伺います。</p>	

- イ 公共施設の在り方と管理運営について指針によって行われていますが、公共施設約800ある施設を約50億円かけて維持管理されている現状から203施設を対象に縮減されつつありますが、その効果について伺います。又、指定管理者制度について本来の目的と離れて有効に機能されていない側面があるように見受けられますが、指定管理料の高止まりはないか併せて伺います。
- ウ 組織・機構と適正な人員管理については、合併して17年と10年が経過してきましたが、市内全般を把握できている人材を育成し市民サービスの向上を図ることについて伺います。
- エ 財源の確保と債務の抑制については一定の部門では数値は改善されているものの9月決算書の公営事業等の金額を見る限り懸念すべき点が在るように考えます。本来、公営企業会計は自前で健全経営に努めるべきことであり普通会計から多額の繰出し金が拠出されている現状は憂うべきことではないかと考えますが、伺います。

質問者	6 鐘 推 義 憲
質問事項・質問内容	
(1) 農業分野の災害復旧事業の現状及び今後の対応について伺う	
<p>① 今年7月から8月にかけて、記録的な豪雨と台風により出雲市内で大きな被害が発生しました。これに対して、出雲市では補正予算を組む中で、市民生活の正常化をはじめ、様々な分野における災害復旧事業が実施されており、一刻も早い完全復旧が待たれるところです。そのような中、農業分野においても、農地をはじめ農業施設や農業機械等が被災し、農業従事者の今後の生産活動に大きな打撃を与えたことから、現在、農地等の災害復旧事業および復旧支援事業が実施されていますが、これまでの進捗状況、今後のスケジュール及び対応等について、次の通り伺います。</p> <p>ア 農地及び農業用施設の災害復旧事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現年発生補助災害復旧事業（国の補助事業を活用） ○ 現年発生単独災害復旧事業 <p>上記2つの復旧事業については、当初、農地4%、農業用施設2%の受益者負担金が設定されていましたが、その後、この負担金は免除され、農業従事者の負担軽減につながりました。しかし一方で、どうしても生活関連の復旧工事が優先されることから、農地の復旧工事は想定通りには進んでいない状況にあるようです。このため、次期の作付けに向けて生産資材を準備しても作付け予定が立たないばかりか、作付けができなくなれば、収入は減り損失も発生する事態が想定されます。そこで、次の2点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 農地の復旧工事の進捗状況および今後のスケジュールについて b 復旧工事の遅れを原因とする収入減に対する支援策について <p>イ 出雲農業未来の懸け橋事業に新設された復旧支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農地等早期復旧支援事業 ○ 農業用機械・設備復旧支援事業 <p>上記2つの支援事業は出雲市とJAしまねの共同事業であり、それぞれ1,000万円を拠出し、事業費総額2,000万円を実施されていますが、その申請件数は、米の収穫が終わった頃から増えている状況にあるようです。そこで、次の2点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 現在の補助金の申請状況について b 事業費総額2,000万円を超える申請額が想定される場合の対応について 	

(2) 厳しい経済環境下における、いずもぶどうの産地維持に向けた生産農家への支援方針について伺う

- ① 全国に知られている島根のぶどう、特に日本有数の生産量を誇る「デラウェア」は、品質の面でも市場や消費者から高い評価を受けており、出雲を代表する最大の特産品となっています。これは、これまでのぶどう生産農家や生産組織をはじめ、行政やJA等の関係団体の努力と苦労が重ねられた結果です。この「デラウェア」については、市場や消費者の需要が高い時期に合わせて4月～5月の超早期出荷・早期出荷に取り組まれており、このことは「いずもぶどう」の大きな特徴となっています。なお、このような出荷体制をとるためには、重油を使用した加温栽培を行わなければならない、これまで、早期出荷への誘導策として出雲農業未来の懸け橋事業のメニューの中で支援が行われています。

しかし今年、原油価格、陸上貨物輸送費、段ボール箱等の生産資材価格が高騰しており、ぶどう生産農家を取り巻く経済環境は大変厳しく、次年度の経営に大きな影響が出るのが懸念されます。特に、重油価格の高騰は加温のための経費負担が大きく増大することとなります。また、仮に加温栽培が行われなくなれば、出荷時期が6月～7月にずれ込むこととなるため、他の産地の出荷時期と重なり、売り場確保ができなくなったり、供給過多による価格の下落にもつながります。その結果、生産農家の高齢化が進む中であって、今後廃業に迫られる生産農家も出てくるのではないかと、ひいては「いずもぶどう」の産地崩壊にもつながるのではないかと危惧されるようです。

そこで、持続可能なぶどう生産が行われるためには、引き続き早期出荷に向けた加温栽培が必要であることから、今後の生産農家への支援方針について、次の通り伺います。

- ア 早期出荷への誘導のために、現在の出雲農業未来の懸け橋事業による支援に加えて、新たな追加支援（補助金等）を実施できないか。
- イ ハウス内の温度を上げるための加温方法として、今後、「みどり食料システム戦略」の目標達成に向けて、重油燃焼式加温機から、環境に配慮したガス燃焼式加温機やハイブリッド式加温機（電気と重油燃焼を併用）等への更新する際に、新たな手厚い支援（補助金等）を実施できないか。

質問者	7 高橋 扶治夫
質問事項・質問内容	
(1) 日御碕の海底遺跡について	
<p>① 日御碕神社の天照大御神を祀る日沈宮は、文献に残っている西暦880年の出雲地震までは、現在の経島の周辺にあったようです。近くの海底には海底遺跡と思われるものがたくさん見つかっており、地滑りを起こして沈んだ可能性を感じさせるものもあるようです。科学的な検証が難しい場所のため、今まで本格的な調査がされずにいます。是非、文化庁に海底遺跡調査を働きかけて頂けないでしょうか。市の見解を伺います。</p>	
(2) 原子力災害時の「出雲市広域避難計画」の実効性について	
<p>① 放射性物質を放出するという非常事態が起こった時には、30km圏内全員が避難退域時検査地へ向かうこととなります。9月30日現在の住民基本台帳によると、浜山公園へ向かうのは、15地域の32,093人、世帯数11,387世帯、1世帯当たり2.81人、避難者の乗用車の台数は1世帯1台として11,387台です。浜山公園の駐車台数は乗用車981台、バス14台となっています。その他の避難退域時検査地も同様に避難者を受け入れるには駐車場が狭すぎると考えられます。避難退域時検査地をもっと増やすべきではないかを伺います。</p> <p>② 広島県への避難についても「避難経路所」の受け入れ体制の確認や「避難所」への実際の避難訓練をコミュニティセンターの地区災害対策本部単位で実施すべきではないかを伺います。</p> <p>③ この「出雲市広域避難計画」を、市民へはいつどのように周知されるのかを伺います。</p>	

質問者	12 児玉俊雄
質問事項・質問内容	
(1) 中山間地域の集落の実態調査について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 国や県が実施している集落調査の概要を伺います。(過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査、島根県集落調査など) ② 本市において国県の集落調査をどのように分析され、施策に反映させてこられたのか伺います。 ③ 本市の中山間地域の人口減少の原因をどのように分析されているのか伺います。 ④ 本市の中山間地域の各集落の10年後の状況をどのように想定されているのか伺います。 ⑤ 総合振興計画の策定に向け、上記2項目に関わる個別調査など中山間地域の集落の実態調査を実施する考えはないか伺います。 	
(2) 新エネルギーセンターについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 新エネルギーセンターの試運転の状況と旧エネルギーセンターの仕舞作業の状況を伺います。 ② 新エネルギーセンターのダイオキシン対策は万全か伺います。 ③ 新エネルギーセンターへの移行に伴い、ゴミの分け方や出し方がどのように変わるのか伺います。 	

質問者	16 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 雲洲平田船川の環境整備の推進について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 雲洲平田船川の河川浄化と環境整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ア 今までの取り組みと課題 イ 水質浄化と環境整備の推進について <ul style="list-style-type: none"> a 今後の課題と県との連携 	
(2) ワーク・ライフ・バランスの推進について	
<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの取り組みについて ② 市内企業・事業所における取り組み内容と評価と課題について伺います <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市中小企業・小規模企業振興計画の中での取り組み イ 実態調査の現状と課題 ③ 特定事業主行動計画におけるこれまでの取り組みと評価 	

質問者	10 玉 木 満
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容	
(1) 出雲駅伝の開催状況について	
<p>① 初出場チームが初優勝という結果で決着した今年の出雲駅伝。2年ぶりの開催に向けて、感染症対策に係るガイドラインを設けるなど、競技運営と感染症対策の両立に大変苦勞されたと推察するが、準備や対応などを含めた開催状況について伺う。</p> <p>ア 開催にあたり従来から変更した内容と効果</p> <p>イ 新たな課題、さらなる改善に努める事項があるか</p> <p>ウ 経済への影響についてどのように考えているか</p>	

質問者	20 福 島 孝 雄
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容	
(1) 出雲市の農業の現状と今後の取組みについて	
<p>① 令和3年産米の収穫状況を踏まえての令和4年産米の作付け計画について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 令和3年産米の出雲市の米の収穫量（品種別前年対比） イ 令和2年産の米の在庫状況と処分の見通し ウ 令和4年産米の作付け計画予測 <p>② 出雲市の行政と農業生産者との各種手続きのデジタル化に向けての取組みを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 行政（農業関連部署）に於けるデジタル化（オンライン化）可能な業務の種類と実行計画（農業生産者が関わる業務） イ 行政・JA関連・農業生産者間でのデジタル化（オンライン化）可能な業務の種類と実行計画 ウ 各種申請書・報告書に於ける「紙媒体」からメールへの移行状況 <p>③ GAP（美味しまね認証）の取組みについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市に於ける認証数（品目別） イ 認定を受けた農産物に対する行政の評価と販売促進に向けた現状の取組みと今後の対策 ウ 学校での食育推進に於ける「GAP（美味しまね認証）」の学習 	
(2) コロナ禍に於ける学校教育の環境変化について	
<p>① コロナ禍での学校教育への影響について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各種行事中止による児童への影響 イ いじめ・不登校への影響 ウ テジタル化の成果 エ ポストコロナで変わるもの <p>② コロナ禍での特別支援教育の現状について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 特別支援教育を受けている児童数 イ コロナ禍による影響と課題 ウ 特別支援までには至らないが、普通教室での学習が一時困難な児童への対応及び、保護者への対応 	

質問者	14 本 田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市行政に地域間格差はありますか	
<p>① コロナワクチン接種券の発送に格差はありましたか。 例えば、出雲市の東側からスタートして、最後は西とか。</p> <p>② プレミアム商品券の発送に格差はありましたか。 例えば、市の中心部が先で周辺部は後回しにするとかは、ありましたか。</p> <p>③ 携帯電話通信網の格差はありますか。 例えば、docomoの携帯電話のつながらない場所は、市全体のどのくらいの割合で しょうか。またどの地区がつながらない地区でしょうか。</p>	
(2) 道の駅「キララ多伎」から出雲大社への道について	
<p>① 出雲多伎インターから下りさせる案はあるか。</p> <p>② 多伎町久村から湖陵町大池地区の上下水道整備計画はあるか。</p> <p>③ 海岸線の緑化はどう考えているか。</p>	

質問者	17 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) ふるさと納税の現状と対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 受入額と受入件数の推移 ② 社会情勢に応じた返礼品の選定 ③ 寄附者と断続的なつながりを持つための創意工夫 ④ 受入額拡大のための対策 	
(2) 生活道路における交通安全対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市内における交通事故や死亡事故の推移 ② 「ゾーン30」の整備および物理的速度抑制対策の現状と効果 ③ 「ゾーン30」および「ゾーン30プラス」における財政措置と導入の予定 	

質問者	15 木 佐 宏
質問事項・質問内容	
(1) 土木建設業界の人手不足と企業数の激減へ提言する	
<p>① 本年7月7日からの豪雨により、本市においても市内全域に亙り、甚大な被害が生じる近年稀にみる大災害、9月議会一般質問は、この災害に関し大半の議員諸氏が採りあげられましたが、いまだ復旧は道半ば、大きな崩落事案や砂防堰堤内の土砂撤去も安易に手がつけられないなど、課題が山積しております。</p> <p>膨大な復旧事案を処理され、今日までの職務執行を経て来られた、所管セクションのトップである、金山都市建設部長におかれては繰り返し発生するであろう豪雨災害処理への諸施策を如何様にお考えか、所見をお尋ね致します。</p> <p>ア 昨今の線状降水帯と云われる局地的に集中大雨が降りそそぐ、あるいは、近年またゲリラ豪雨と表現されて来た大雨による被害が連発発生する異常事態が世界中に伝播発生して居ます。</p> <p>本市の土木建設業界も人手不足とか、更に建設業企業の激減により、本市の入札参加登録業者も本市からの要請に満足に対応出来ないと伺っています。都市建設部長の立場から何が課題か、予防防災課題に何が見えるかお答え下さい。</p> <p>イ 側聞するところによると、この度の豪雨災害の対処が、雲南市では当該行政区内で解決出来ず、隣接行政区の土木建設業者に雲南市として救援要請がされたように聞き及んで居ます。</p> <p>出雲市も明日は我が身、危機感を持って万全を期して適切な指針を発せられる様要請致します。</p>	

質問者	1 吉井安見
質問事項・質問内容	
(1) 災害復旧事業の期限延長を	
<p>① 7・8月の大雨・台風災害によって出雲市内各地で被害が発生しました。復旧が進みつつありますが、一時的な対処に留まり本格的な対策はまだこれからというところも少なくありません。迅速な復旧を進めるとともに、現場の実態に即した長期的視点にたった取り組みを求めます。</p> <p>ア 出雲市内での災害復旧の現状と今後の見通しについて、認識を伺う。</p> <p>イ 市内土木業者からは、「裏山や農地の土砂撤去などの要請があるが、人手不足のなか繁忙期と重なることもあり今年度内で終わらせることは困難」と声が寄せられている。年度をこえて行われる復旧作業についても、補助・助成を継続することを求めるが、市の考えを伺う。</p>	
(2) 円滑な新型コロナワクチン接種と検査体制の充実を求める	
<p>① 12月から第3回目の新型コロナワクチン接種が始まろうとしています。出雲市内でも2回目の接種から8ヶ月が経過した方から順に進められる予定となっています。</p> <p>ア 希望される方の接種が円滑に進むように、市民への周知の徹底と医療機関との協力が不可欠と考えるが、市の取り組みを伺う。</p> <p>イ ワクチン接種の期間も長期化しており、対応する現場への負荷が蓄積されているが、どのような声が上がっているか、その声をどのように受け止めているか認識と対応を伺う。</p> <p>ウ 第1回目、第2回目の接種の際に、接種会場への交通費の助成を求める声が上がった。第3回目の接種にあたり改めて検討が必要と考えるが、所見を伺う。</p> <p>エ 感染の規模は小さくなっているものの、ブレークスルー感染によるクラスターの事例も報道されている。医療機関や介護・福祉施設など感染が広がった際のリスクの高い場所では、繰り返しの検査とその支援が必要と考えるが、所見を伺う。</p>	
(3) 市立総合医療センターの再編統合は白紙・撤回を	
<p>① 政府は436の公立・公的病院の名前をあげ、再編統合や病床削減の検討を迫っています。新型コロナ危機を経験し、日本の医療体制の脆弱性が浮き彫りになり、住民の命と健康を守る医療機関の重要性が改めて明確になりました。病床削減を進める地域医療構想や公立・公的病院の整理縮小は見直しが必要です。</p> <p>ア 政府が公表した公立・公的病院のリストの中には、「市立総合医療センター」も含まれている。この再編統合計画の白紙・撤回を国に求めるべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>イ 新型コロナ感染症の第6波や、さらなる新興感染症の発生も踏まえ、現在の地域医療構想を見直し、医療体制の強化、現場の課題を解決すべきと考えるが、認識を伺う。</p>	

質問者	30 長 廻 利 行
質問事項・質問内容	
(1) 火災予防の取組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本年の市内での火災の発生状況やその原因などについて伺う ② 住宅火災を予防するためにはどんな備えが必要か伺う ③ 万が一火災が発生した場合、火災警報器が火災の早期発見と逃げ遅れや延焼などの被害を抑える効果がある。住宅用火災警報器の設置が完全義務化されて10年になるが、市内での設置状況と未設置世帯の対応について伺う。 	

質問者	3 福 田 実
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容	
(1) 今後の水産業振興について	
① 今後の水産業振興、担い手育成について具体的な計画、お考えを伺います。	
(2) 原子力防災の取り組みについて	
① 今後、島根原発2号機が再稼働され、万が一福島第一原発のような大災害があった時、現在の広域避難計画で本当に大丈夫なのか伺います。	

質問者	21 西村 亮
質問事項・質問内容	
(1) 子どもの育成と子育て環境の拡充を問う	
<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもの医療費の拡充と他市との比較 ② 教育環境の充実と共に不安を抱える児童、生徒の負担軽減策 ③ 子どもを産み育てやすい環境を整える施策 ④ 子どもの出産祝の現状と今後の方針 ⑤ 子どもは地域の宝と言われているが、少子化克服の秘策を伺う ⑥ 子どもの育成、子育て環境は不十分と思うが見解を伺う ⑦ 子どもの育成、子育て環境においては出雲市の最重要課題である。更なる拡充が必要と考えるが所見は。 	
(2) 消防団の処遇改善策を問う	
<ul style="list-style-type: none"> ① 団員不足の解消に向けた取組を伺う ② 消防団員の充足率と他市との比較 ③ 総務省は報酬年額36,500円、出動手当8,000円とする通知をした <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市の現状と他市との比較を伺う イ 出雲市の状況において仄聞したところによると他市との比較で低い状況であり今後の改善策は 	

質問者 11

後藤由美

質問事項・質問内容

(1) 灯油高騰にともなう「福祉灯油」施策の実施について

① 原油価格の高騰にともないガソリンや灯油価格の高値が続くなか、中小業者や運輸、農業・漁業など、石油が使われる分野を救う手立てや、「福祉灯油」など生活困窮者に対する早急な支援が求められています。
そこで、伺います。

ア 以前、市が「福祉灯油」を実施した頃と比較しても灯油などの価格高騰のみならず、消費税10%増税やコロナ禍もあり、経済的に困難度合いが高まっています。今年の冬は大雪も予想されており、灯油は欠かせません。高齢者や障がい者、ひとり親家庭などの低所得者世帯と、生活保護世帯に灯油代を補助する「福祉灯油」の実施を求めます。所見を伺います。

(2) 児童生徒一人一台パソコン端末を配備する、ICT教育について

① 全国の公立小中学校などに「一人一台タブレット端末」が配備され、「GIGAスクール構想」にもとづいたICT教育が出雲市でも始まっています。ICT教育は感染症による臨時休校などの際に役立つ面もあります。同時に学校での日常的な使用は、子どもの発達と健康を第一にすえ、条件整備もふくめ対応していくことが求められていますが、導入のねらいや目的が現場から出発したものではなく、現場からは様々な困惑の声が聞こえています。
そこで、伺います。

ア 学校現場からは「突如物が降りてきた。どう使えばいいのか困ってしまう」「ICTにたけた教員に質問が集中しており、過重負担になっている」「教員の多忙化がさらに進みそう」など、あらゆる声があがっています。現在市内の小中学校の状況をどう把握しているのか、現状を伺います。

イ 子どもの学力向上のため、ICT教育をどのような目的で、どう運用していくのかなどは、学校の裁量、教員にゆだね、自主的に工夫してつかわれるべきと考えます。「タブレットを使うことが目的」にはなりません。所見を伺います。

ウ タブレットそのものの購入は無償ですが、壊れた時や自宅で使う場合の通信費対応は自治体によって異なります。家庭環境の違いや経済的困難な家庭が不利にならないようにするべきです。所見を伺います。

(3) 島根原発2号機の再稼働について

- ① 福島原発事故から10年以上たちますが、福島第一原発はいまなお「原子力緊急事態宣言」下にあり、事故の原因はいまだ未解明です。原子力規制委員会が9月15日、島根原発2号機が新規規制基準に適合しているとする審査書を正式に了承後、国や中電からは原発再稼働の必要性など、出雲市からは原子力防災の取組みについて住民や議会に説明がありました。島根原発2号機の再稼働によって今後も原発の危険を抱え、原発依存の島根を続けるのか、それとも、きっぱり決別し安全・安心の島根の道を進むのか、今、大きな分かれ目にあります。
- 市民の命と安全を守るためには、原発再稼働は認められません。そこで伺います。
- ア 「世界で最も厳しい水準の規制基準」で合格とありますが、「新基準」は福島原発事故の原因究明もないままです。活断層があってもその真上に原子炉など重要な設備でなければ建設してもよいなど、きわめてずさんなものとなっています。合格したといっても安全は保障されていません。市長の所見を伺います。
- イ 国は「核燃料サイクル政策の推進」を明記し、使用済み核燃料からプルトニウムを取り出して核燃料として再利用するとしています。しかし、使う当てのないプルトニウムのためこみは国際的な信用を失い、また、処分方法がみつかっていない高レベル放射性廃棄物も増え続けます。これを止めるためにも原発再稼働は認められないと考えます。市長の所見を伺います。
- ウ 「市の広域避難計画の実効性を高める」とは、原発事故が起きたとき100%住民の命と安全、そして健康を守ることができる計画だと考えます。市民への周知を図るためには「要望があったところに行く」のでは不十分です。具体策を伺います。
- エ 市は再稼働の判断について「住民説明会をはじめ、市議会、原子力発電所環境安全対策協議会、原子力安全顧問等の意見を踏まえ、総合的に判断する」としています。しかし、これらは判断のプロセスではありますが、判断の基準にはなりません。再稼働をどうするか判断基準は、市民の合意と市民の安全が完全に守れるのかにあると考えます。市長の所見を伺います。

質問者	27 板倉 一郎
質問事項・質問内容	
(1) 子どもと仕事の両立支援について	
<p>① 共働きの若い子育て中の方から、他市より出雲市に移り住んだが、保育所に入所希望したが入所が出来ず困っているとの相談を受けました。市長は施政方針の中で、「出雲で結婚し、子どもを産み育てたいと希望する若い世代をしっかりと支えるため、結婚から子育てまでの切れ目ない支援や子育てと仕事の両立支援の充実を図ってまいります。」と述べられていますが、保育所などの状況および今後の対策などについて次の点を伺う。</p> <p>ア 年度当初の保育園への入所未決定者数と現時点での現在の入所未決定者の数について旧市町単位で伺う。</p> <p>イ 現在入所未決定者がいる理由と市の対応について伺う。</p> <p>ウ 今後の入所未決定者対策について伺う。</p> <p>エ 現在の幼稚園の一時預かり事業の概要と、幼稚園を認定こども園にするなどして3才未満の子どもを預かることが出来ないか伺う。</p> <p>オ 休日および夜間の仕事をしている方から、休日および夜間保育のニーズがある、市の保育支援について伺う。</p>	